

Ⅶ 緑豊かな静岡県土の創造のために

Was ist zu tun, um eine an Grün reichen Präfektur Shizuoka zu schaffen

静岡県はきわめて多様な自然環境下におかれている。太平洋に面した、日本列島の中央部に位置し、数多くの日本一の自然環境条件、産物あるいは観光資源などをもち、48都道府県の中でももっとも住みやすい地域といえる。したがって、古くから人間が定住し、現在の静岡県の繁栄をもたらしている。反面、長い間のさまざまな人間の影響、とくに戦後40年間の急速な都市化、産業立地化によって、その土地本来の自然植生は急速にその姿をかえ、あるいは消滅を強要されている。

21世紀に向かって、限られた静岡県土で、350万人の県民が孫子の代まで健全に豊かな生活環境の中で固有の文化を発展させながら幸福に生きてゆくためには、従来の非生物的材料やエネルギーの使用量をほこるだけでは不十分である。同時に命の共存者であり、生態系の主役である生きた構築材料を使って、地域固有の緑の環境創造がすべての現代人やらなければならない焦眉の課題といえる。

いわゆる緑化にはさまざまなやり方があり、それぞれ必要である。静岡県のとくに低地や台地上の都市産業立地、交通施設が集約され大部分の県民が生活している地域では、限られた空間をより立体的に県民の遺伝子給源として持続的なまちがいのない人間の生存環境を形成するためには、その土地本来の自然植生の回復、すなわち潜在自然植生を基礎にした緑豊かな環境創造が必要である。

本報は静岡県全域の現存植生を基礎にした現存植生図と平行して、2年余にわたって、全域を踏査して潜在自然植生を調査し、その結果をまとめたものである。潜在自然植生の調査は着物の上から中身を調べるような、わずかに残されている残存自然植生、残存木から、土地本来の自然植生維持力を現場で把握することである。幸いにも静岡県土の全域において、海岸部、都市部から内陸山地に至るまで、長い間の先人たちの一方では開発しながら、他方においては必ずふるさとの木によるふるさとの森を創って来た社寺林、斜面林、海岸林などによって、全域について潜在自然植生を把握することが可能であった。これら潜在自然植生の具体的な配分を行政、企業、県民にわかることばに翻訳したいいわゆる翻訳図が静岡県全域の潜在自然植生図である。

本調査を通して県内に存在する植物群集単位は83に達した。これらの植物群落単位は p. 125 以下に示した植生体系に位置づけられる。

この静岡県全域の潜在自然植生図を基礎にして、現存している残された自然植生を将来県民の命の遺産として残すと同時に、よりよい緑の環境創造のための生きた処方箋として、使って載きたい。すでに静岡県内には昭和16年に、いわゆる紀元2600年を記念して創った当時はげ山に植え

られた，護国神社の森やあるいは一部の企業や県が今は始めている新しい緑の環境創造，郷土の森の形成の芽ばえが各地に見えは始めている。

将来にむかってまちがいなく，我々の命を守るふるさとの森づくりに相手まかせの時代は終わった。すべての県民がそれぞれの地域で命と心と環境を守る生きた緑のプロデューサーとして，潜在自然植生図を脚本として時間と共にますます発展する地域固有のふるさとの森づくりに種極的にとり組んで載くことを強く期待した。

摘 要

1960年および1961年の2年間静岡県全域において潜在自然植生の調査研究が行なわれた。

静岡県域は本州中部の太平洋側に位置し、海岸線からわが国最高峰の富士山までを含み、自然環境が多彩であるため、太平洋側におけるほとんどの代表的な植物群落が出現している。しかし同時に古くから人間の居住するところとなり、また近年都市化、産業立地化がいちじるしく進んだ結果、自然植生域は広域的に代償植生に変えられている。

今回の調査で静岡県下で判明した自然植生の群集レベルの群落単位は83に達した。これらの群落単位は植生体系上以下の植物社会学的群落システムにまとめられる。

1. 常緑広葉樹林；照葉樹林

ヤブツバキクラス

シキミーアカガシオーダー

アカガシ—シラカン群団

シキミーモミ群集

シラカン群集

ツクバネガシ—シラカン群集

カナメモチ—コジイ群集

ソヨゴースダジイ群落

ルリミノキーイチイガン群集

ヤブコウジースダジイ群集

イロハモミジ—ケヤキ群集

アブラチャン—ホソバタブ群集

タイミンタチバナースダジイオーダー

イズセンリョースダジイ群団

イノデ—タブノキ群集

ホソバカナワラビースダジイ群集

ミミズバイースダジイ群集

トベラ群団

トベラ—ウバメガシ群集

マサキ—トベラ群集

2. 夏緑広葉樹林（温帯性）

ブナクラス

ササ—ブナオーダー

スズタケブナ群団

オオモミジガサブナ群集

シコクスミレーブナ群落

ヤマボウシブナ群集

カニコウモリーウラジロモミ群集

ヒメコマツオーダー

ヒノキ群団

シノブカグマーヒノキ群集

シオジハルニレオーダー

サワグルミ群団

ヤハズアジサイサワグルミ群集

ミヤマクマワラビーシオジ群集

オオモミジケヤキ群集

ミヤマクマワラビーケヤキ群集

コナラーミズナラオーダー

エノキームクノキ群団

ムクノキエノキ群集

イヌシデーコナラ群団

コハクウンボクイヌブナ群集

コカンスゲーツガ群集

クリーコナラ群集

クリーミズナラ群集

アセビーリョウブ群落

アカマツ群団

モチツツジアカマツ群集

ヤマツツジアカマツ群集

オーダー，群団は未決定

アンタカツツジトウゴクミツバツツジ群集

ジングウツツジアカマツ群落

サワダツクマシデ群落

ヤブムラサキモミ群落

3. ヤナギ林

オノエヤナギクラス

コモチマンネングサータチヤナギオーダー

タチヤナギ群団

ジャヤナギ—アカメヤナギ群集

タチヤナギ群集

ヤシャブシ—コゴメヤナギオーダー

シロヤナギ—コゴメヤナギ群団

コゴメヤナギ群集

ネコヤナギ群団

ネコヤナギ群集

サツキ群集

ドクウツギ—アキグミ群集

オオバヤナギ—ドロノキオーダー

ドロノキ群団

オオバヤナギ—ドロノキ群集

4. 亜高山帯針葉樹林

コケモモ—トウヒクラス

シラビソ—トウヒオーダー

オオシラビソ群団

シラビソ—オオシラビソ群集

コケモモ—ハイマツオーダー

コケモモ—ハイマツ群団

コケモモ—ハイマツ群集

5. 亜高山帯広葉樹林および広葉草原

ダケカンバー—ミヤマキンポウゲクラス

オオバタケシマラン—ミヤマハンノキオーダー

ミドリユキザサ—ダケカンバ群団

タカネノガリヤス—ダケカンバ群集

シナノキンバイ—ミヤマキンポウゲオーダー

シナノキンバイ—ミヤマキンポウゲ群団

センジョウアザミ—ミヤマシウド群集

6. 高山風衝矮生低木群落

エイランタイ—ミネズオウクラス

コメバツガザクラオーダー

コメバツガザクラ群団

コメバツガザクラ—ミネズオウ群集

7. 雪田草原
 - アオノツガザクラ—ジムカデクラス
 - ジムカデオーダー
 - アオノツガザクラ群団
 - タカネヤハズハハコーアオノツガザクラ群集
8. 高山荒原植物群落
 - コマクサ—イワツメクサクラス
 - コメバツメクサオーダー
 - イワツメクサ群団
 - タカネビランジ—ミヤマミミナグサ群集
 - フジハタザオ—オンタデ群集
 - イワベンケイ—シコタンソウ群集
9. 高山風衝草原
 - カラフトイワスゲ—ヒゲハリスゲクラス
 - オノエスゲオーダー
 - オヤマノエンドウ群団
 - シラネヒゴタイ—オヤマノエンドウ群集
10. 岩角地矮生低木群落
 - コメツツジ—ハコネコメツツジクラス
 - コメツツジ—ハコネコメツツジオーダー
 - コメツツジ—ハコネコメツツジ群団
 - オノエラン—ハコネコメツツジ群集
11. 岩上, 岩隙草本植物群落
 - チャセンシダクラス
 - イワタバコオーダー
 - イワタバコ群団
 - ツルデンダー—イワユキノシタ群集
 - ミツデウラボシ—イワタバコ群集
12. 亜熱帯海岸低木林
 - オオハマボウ—アダンクラス
 - オオハマボウ—アダンオーダー
 - ハマボウ群団
 - ハマボウ群集
13. 海岸砂丘矮生低木林

ハマゴウクラス

ハマゴウオーダー

ケカモノハシ—ハマゴウ群団

チガヤ—ハマゴウ群集

14. 刈取放牧地および風衝地草本植物群落

ススキクラス

ハマアオスゲオーダー

ボタンボウフウ群団

イソギク—ハチジョウススキ群集

15. 海岸砂丘草原

ハマボウフウクラス

ハマボウフウオーダー

コウボウムギ群団

ハマグルマ—コウボウムギ群集

ハマグルマ—ケカモノハシ群集

ハマグルマ—オニシバ群集

ハマニガナ—ビロウドテンツキ群集

コウボウシバ群落

16. 海岸断崖地1年生草本植物群落

ハマツメクサクラス

ハマエノコロ—ハマツメクサオーダー

ハマエノコロ—ハマツメクサ群団

ハマエノコロ—ハマツメクサ群集

17. 海岸汀線有機物上1年生草本植物群落

オカヒジキクラス

カオヒジキオーダー

オカヒジキ群団

ハマヒルガオ—オカヒジキ群集

18. 低層湿原草本植物群落

ヨシクラス

ヨシオーダー

ヨシ群団

シオクグ群集

ウキヤガラ—マコモ群集

- オギーヨシ群団
 - オギ群集
- セリークサヨシ群団
 - セリークサヨシ群集
- ツルヨシ群集
- 大形スゲオーダー
 - ホソバノヨツバムグラ—大形スゲ群団
 - カサスゲ群集
 - チゴザサーアゼスゲ群集
- 19. 湧水辺植物群落
 - ヌマハコベータネツケバナクラス
 - オオバセンキュウ—タネツケバナオーダー
 - オオバセンキュウ—タネツケバナ群団
 - ヒメレンゲ—ナルコスゲ群集
- 20. 浮葉・沈水草本植物群落
 - ヒルムシロクラス
 - ヒルムシロオーダー
 - ヒツジグサ群団
 - ジュンサイ—ヒツジグサ群集
 - ガガブターヒシ群集
- 21. 崩壊地広葉草原
 - クラスは未決定
 - フキーウドオーダー
 - タケニグサ群団
 - イワニガナーアブラシバ群集
 - フジアザミーヤマホタルブクロ群集
- 22. 路傍草本植物群落
 - ヨモギクラス
 - ヨモギオーダー
 - カワラハハコ—ヨモギ群団
 - カラメドハギ—カワラケツメイ群集
- 23. 路上および冠水草原群落
 - オオバコクラス
 - オオバコオーダー

カモジグサーギンギン群団

ナガバギンギン—ギンギン群集

24. 上級単位未決定の群落

イヌツゲーハンノキ群集

クロツバラ—ハンノキ群集

フジアカシ ヌウマーシモツケソウ群集

潜在自然植生図は全城10万分の1の縮尺で描かれた。静岡県下で判明した上記の自然植生の群落単位は45の凡例にまとめられ、同時にこれらの凡例にもとづいて考察されている。

常緑広葉樹林域（ヤブツバキクラス域）は海岸線から海拔およそ700m付近までと判定される。沖積低地で現在都市化の進む地域の大部分はイノデータブノキ群集と判定されるが、海岸に面した凹状地地形はホソバカナワラビースダジイ群集が生育する。低地につづく丘陵地はヤブコウジ—スダジイ群集が広い面積をしめ、海拔450m付近からシキミーモミ群集域となる。

夏緑広葉樹林域はヤマボウシ—ブナ群集が優占し、局部的にコカンスゲーツガ群集、シノブカグマーヒノキ群集、カニコウモリーウラジロモミ群集（富士山）などの針葉樹林が生育している。また愛鷹山、富士箱根地域には風衝低木林や崩壊地草本植生がみられる。

亜高山帯針葉樹林域（コケモートウヒクラス域）は海拔1,600～1,700mより始まり、シラビソ—オオシラビソ群集が主要な植生である。その地域は南アルプス、富士山に限られる。

高山帯の植生は植生域が狭いため、地図上ではクラスレベルで描かれている。アオノツカザクラ—ジムカデクラスが赤石山彙に、コマクサーイワツメクサクラスが主に富士山に分布している。

以上の植生学的な調査結果および潜在自然植生図を基礎に、県下における自然保護および環境保全、とくに環境保全林形成を中心とする環境創造を都市及び各種施設をケーススタディとして考察した。

ZUSAMMENFASSUNG

Die Präfektur Shizuoka liegt in der Mitte der Japanischen Inseln an der Küste des Pazifik. Von der Meeresküste bis zum Gipfel des Berges Fujisan (3,776m NN) kommt hier ein Großteil der japanischen Pflanzengesellschaften unter vielseitigen natürlichen Bedingungen auf relativ kleinem Raum vor. Hier lebten seit frühester Zeit Menschen, und heute noch bieten sich hier mit die besten Lebensbedingungen für Menschen in Japan überhaupt.

Die Präfektur Shizuoka nimmt unter den 48 Präfekturen Japans in mehrfacher Hinsicht eine Spitzenstellung ein, so nach natürlicher Ausstattung, nach Produktion und nach touristischer Entwicklung. Andererseits war die Präfektur Shizuoka in den letzten 40 Jahren nach dem 2. Weltkrieg einer besonders raschen Urbanisierung und Entwicklung moderner Wirtschaft und Industrialisierung unterworfen, wodurch die standortsgemäße natürliche Vegetation und die Standorte selbst stark verändert worden sind.

Wenn auch die kommenden Generationen der über 3,57 Millionen Einwohner auf dem recht beschränkten Areal der Präfektur Shizuoka weiter gesund leben und ihre eigene Kultur entwickeln wollen, so dürfen die heute Lebenden nicht in bisheriger Weise ihren Stolz in die Massennutzung der verschiedenen Energiequellen und unbelebten Rohstoffe wie Eisen, Zement, Erdöl, Kohle u. a. setzen. Heute ist es am wichtigsten, gleichzeitig mit Pflanzen als "lebendigen Baustoffen", die auch Mitgeschöpfe des Menschen und auch ein Hauptteil des Ökosystems Erde sind, in den Städten, Industriegebieten, an Verkehrsanlagen und auf anderen Flächen standortsgemäße Heimatwälder als Umweltschutzwälder, d. h. eine an Grün reiche Umwelt zu schaffen.

Die Vegetation der Präfektur Shizuoka haben wir seit mehreren Jahren mit Vegetationsaufnahmen studiert, und die reale Vegetation wurde kartiert. Auf dieser Grundlage wurde die heutige potentielle natürliche Vegetation abgeleitet.

Durch Tabellenarbeit und den Vergleich der Vegetationsaufnahmen sind nunmehr 77 Assoziationen und 6 Gesellschaften in der Präfektur Shizuoka namhaft gemacht worden. Die Vegetationseinheiten und ihr System sind in diesem Raume folgende:

1. Immergrüne Laubwälder; Lorbeerwälder

Camellietea japonicae Miyawaki et Ohba 1963

Illicio-Quercetalia acutae K. Fujiwara 1981

Quercion acuto-myrsinaefoliae K. Fujiwara 1981

Illicio-Abietetum firmae Suz.-Tok. 1961

- Quercetum myrsinaefoliae* Miyawaki 1976
Quercetum sessilifolio-myrsinaefoliae K. Fujiwara 1981
Photinio-Castanopsietum cuspidatae Nakanishi et al. 1977
Lasiantho-Quercetum gilvae K. Fujiwara 1981
Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952
Aceri-Zelkovetum Miyawaki et K. Fujiwara 1970
Parabenzoino-Perseetum japonicae Ohno 1981
Myrsino-Castanopsietalia sieboldii K. Fujiwara 1981
Maeso japonicae-Castanopsion sieboldii K. Fujiwara 1981
Polysticho-Perseetum thunbergii Suz.-Tok. 1952
Arachniodo-Castanopsietum sieboldii et al. 1971
Symplocoglauciae-Castanopsietum sieboldii Miyawaki et al. 1971
Pittosporion tobira Nakanishi et Suzuki 1974
Pittosporo-Quercetum phillyraeoidis Suz.-Tok. et Hatiya 1951
Euonymo-Pittosporetum tobira Miyawaki et al. 1971
2. Sommergrüne Laubwälder (der gemäßigten Zone)
- Fagetea crenatae* Miyawaki, Ohba et Murase 1964
Saso-Fagetalia crenatae Suz.-Tok. 1966
Sasamorpho-Fagion crenatae Miyawaki, Ohba et Murase 1964
Miricacalio-Fagetum crenatae Miyawaki, Ohba et Murase 1964
Viola shikokiana-Fagus crenata-Gesellschaft
Corno-Fagetum crenatae Miyawaki, Ohba et Murase 1964
Cacalio-Abietetum homolepidis Miyawaki, Hamada et Sugawara 1967
Pinetalia pentaphyllae Suz.-Tok. 1966
Chamaecyparidion obtusae Yamanaka 1962
Arachniodo muticae-Chamaecyparidetum obtusae Maeda 1952 em Murakami in Miyawaki 1985
Fraxino-Ulmetalia Suz.-Tok. 1967
Pterocaryion rhoifoliae Miyawaki, Ohba et Murase 1964
Hydrangeo sikokiani-Pterocaryetum rhoifoliae Yasushi Sasaki in Miyawaki 1982
Dryopterido-Fraxinetum commemoralis Suz.-Tok. 1949

- Aceri amoeni-Zelkovetum serratae* Miyawaki et al. 1979
Dryopterido polylepidis-Zelkovetum Ohno 1983
Quercetalia serrato-grosseserratae Miyawaki et al. 1971
Celtido-Aphananthion Okuda 1978
Aphanantho-Celtidetum japonicae Ohno 1979
Carpino-Quercion serratae Miyawaki et al. 1971
Styraco shiraianaefagetum japonicae Yasushi Sasaki in Miyawaki 1981
Carici-Tsugetum sieboldii Suz.-Tok. 1949
Castaneo-Quercetum serratae Okutomi, Tsujiet Kodaira 1976
Castaneo-Quercetum crispulae Horikawa et Sasaki 1959
Pieris japonica-Clethra barbinervis-Gesellschaft
Pinion densiflorae Suz.-Tok. 1966
Rhododendro macrosepali-Pinetum densiflorae Suz.-Tok. 1966
Rhododendro-Pinetum densiflorae Suz.-Tok. et Usui 1952
 Ordnung und Verband noch nicht bestimmt
Rhododendretum komiyamae-wadanum Murakami in Miyawaki 1985
Rhododendron sanctum-Pinus densiflora-Gesellschaft
Euonymus melananthus-Carpinus japonica-Gesellschaft
Callicarpa mollis-Abies firma- Gesellschaft
 3. Weiden-Auenwälder
Salicetea sachalinensis Ohba 1973
Sedo-Salicetalia subfragilis Okuda 1978
Salicion subfragilis Okuda 1978
Salicetum eriocarpo-chaenomeloidis Okuda 1978
Salicetum subfragilis Okuda 1978
Alno-Salicetalia serissaefoliae Ohba 1973
Salicion jessoensi-serissaefoliae Ohba 1973
Salicetum serissaefoliae Ohba 1973
Salicion gracilistylae Ohba 1973
Salicetum gracilistylae Minamikawa 1963
Rhododendretum indici Minamikawa 1963

- Coriario-Elaeagnetum umbellatae Okuda 1978
 Toisuso-Populetales maximowiczii Ohba 1973
 Populion maximowiczii Ohba 1974
 Toisuso-Populetum maximowiczii Ohba 1974
4. Subalpine Nadelwälder
- Vaccinio-Piceetea Br.-Bl. 1939
 Abieti-Piceetalia jezoensis Miyawaki, Ohba et Okuda 1968
 Abietion mariesii Suz.-Tok. 1954
 Abietetum veitchio-mariesii Maeda 1958
 Vaccinio-Pinetalia pumilae Suz.-Tok. 1964
 Vaccinio-Pinion pumilae Suz.-Tok. 1964
 Vaccinio-Pinetum pumilae Maeda et Shimazaki 1951
5. Subalpine Laubwälder und Staudenfluren
- Betulo-Ranunculetea acris japonici Ohba 1968
 Streptopodo-Alnetalia maximowiczii Ohba 1973
 Smilacino yezoensis-Betulion ermanii Ohba 1973
 Calamagrostio-Betuletum ermanii (Yamazaki et Uematsu 1963)
 Asano, Sumata et Fujiwara 1972
 Trollio-Ranunculetales acris japonici Ohba 1973
 Trollio-Ranunculion acris japonici Ohba 1969
 Cirsio senjoensis-Angelicetum pubescentis matsumurae
 Ohba 1974
6. Alpine windexponierte Zwergstrauchgesellschaften
- Cetrario-Loiseleurietea Suz.-Tok. et Umezu 1964
 Arcterictalia Suz.-Tok. et Umezu 1964
 Arctericion Suz.-Tok. 1964
 Arcterico-Loiseleurietum procumbentis Ohba ex Suz.-Tok.
 1964
7. Schneeboden-Zwergstrauchgesellschaften
- Phyllodoco-Harrimanelletea Knapp 1954
 Harrimanelletalia Knapp 1954
 Phyllocion aleutica Ohba 1967
 Anaphalido-Phyllocetum aleutica Ohba 1975
8. Gesellschaften alpiner Heiden u. Halbwüsten

- Dicentro-Stellarietea nipponicae Ohba 1969
 Minuartietalia verna japonicae Ohba 1968
 Stellarion nipponicae Ohba 1969
 Melandrio-Cerastietum schizopetali Ohba 1969
 Arabido-Polygonetum weyrichii alpini Ohba 1969
 Sedo rosei-Saxifragetum bronchialis Y. Nakamura 1986
9. Alpine Rasen
 Carici rupestris-Kobresietea bellardii Ohba 1974
 Caricetalia tenuiformis Ohba 1968
 Oxytropidion japonicae Ohba 1967
 Saussureo-Oxytropidetum japonicae Ohba 1981
10. Zwergstrauchgesellschaften auf felsigem Untergrund
 Rhododendretea tschonoskii-tsusiophylli Ohba 1973
 Rhododendretalia tschonoskii-tsusiophylli Ohba 1973
 Rhododendrion tschonoskii-tsusiophylli Ohba 1973
 Orchido-Rhododendretum tsusiophylli Miyawaki, Ohba et
 Murase 1969
11. Steinschuttfluren- und Felsspalten-Gesellschaften
 Asplenieta rupestris H. Meyer et Br.-Bl. 1934
 Conandretalia ramondioidis Y. Nakamura in Miyawaki 1982
 Conandron ramondioidis Y. Nakamura in Miyawaki 1982
 Polysticho craspedosori-Tanakaetum radicans Y. Nakamura in Miyawaki 1982
 Crypsino hastati-Conandretum ramondioidis Miyawaki et
 al. 1971
12. Subtropische Meeresküsten-Niederwälder
 Hibisco-Pandanetea Miyawaki et K. Suzuki 1976
 Hibisco-Pandanetalia tectorii Miyawaki et K. Suzuki 1976
 Hibiscion hamabo K. Suzuki in Miyawaki 1981
 Hibiscetum hamabo H. Nakanishi 1979
13. Küstendünen-Zwergstrauchgesellschaften
 Viticetea rotundifoliae Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
 Viticetalia rotundifoliae Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
 Ischaemo-Viticion rotundifoliae Ohba, Miyawaki et Tx. 1973

- Imperato cylindricae-Vitacetum rotundifoliae* Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
14. Pflanzengesellschaften der Mähwiesen und Weiden sowie windexponierte Wiesen
Miscanthetea sinensis Miyawaki et Ohba 1970
 Caricetalia fibrillosae H. Nakanishi 1980
 Peucedanion japonici Ohba 1970
 Chrysanthemo pacifici-Miscantheum condensati Ohba 1971
15. Küstendünen-Wiesen
Glehnietea littoralis Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
Glehnietalia littoralis Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
 Caricion kobomugi Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
 Wedelio-Caricetum kobomugi Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
 Wedelio-Ischaemetum antheboroidis Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
 Wedelio prostratae-Zoysietum macrostachyae Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
 Ixerido-Fimbristylidetum sericeae Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
 Carex pumila-Gesellschaft
16. Küsten-Mastkraut-Gesellschaften
Saginetea maxima Ohba et Sugawara 1978
 Setario pachystachyos-Saginetalia maxima Ohba et Sugawara 1978
 Setario pachystachyos-Saginion maxima Ohba et Sugawara 1978
 Setario pachystachyos-Saginetum maxima Miyawaki et al. 1980
17. Therophytenreiche Spülsaum-Gesellschaften
Salsolitea komarovii Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
 Salsolietalia komarovii Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
 Salsolion komarovii Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
 Calystegio soldanellae-Salsoletum komarovii Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
18. Röhricht-Gesellschaften
Phragmitetea Tx. et rsg. 1942

- Phragmitetelia Tx. et Prsg. 1942
 Phragmition W. Kock 1962
 Caricetum scabrifoliae Miyawaki et Ohba 1969
 Scirpo fluviatilis-Zizanietum latifoliae Miyawaki et Okuda
 1972
 Miscantho sacchariflori-Phragmition Miyawaki et Okuda 1972
 Miscanthetum sacchariflori Miyawaki et Okuda 1972
 Oenantho javanicae-Phalaridion arundinaceae Miyawaki et
 Okuda 1972
 Oenantho-Phalaridetum arundinaceae Miyawaki et Okuda 1972
 Phragmitetum japonicae Minamikawa 1963
- Magnocaricetalia Pign. 1953
 Galio brevipedunculati-Magnocaricion Miyawaki et K. Fujiwara
 1970
 Caricetum dispalatae Miyawaki et Okuda 1972
 Isachno-Caricetum thunbergii Miyawaki et Okuda 1972
19. Quellflur-Gesellschaften
 Montio-Cardaminetea Br.-Bl. et Tx. 1943
 Angelico-Cardaminetalia Ohba 1975
 Angelico-Cardaminion Ohba 1975
 Sedo subtilis-Caricetum curvicollis Y. Nakamura in Miyawaki
 1982
20. Schwimmblatt- und Laichkrautgesellschaften
 Potamogetonetea Tx. et Prsg. 1942
 Potamogetonetalia W. Kock 1926
 Nymphaeion Oberd. 1957
 Brasensio schreberi-Nymphaeetum tetragonae Okuda in Mi-
 yawaki 1983
 Nymphoido indicae-Trapetum japonicae Miyawaki et al. 1977
21. Schuttfluren
 Noch nicht bestimmte Klasse
 Petasiti japonici-Aralietalia cordatae Ohba 1982
 Macleayion cordatae Ohba et Sugawara in Ohba et al. 1979
 Ixerido-Caricetum satsumensis Murakami in Miyawaki 1984

Cirsio-Campanuletum hondoensis Miyawaki, Ohba et Murase
1964

22. Wegrand-Unkrautgesellschaften

Artemisietea principis Miyawaki et Okuda 1972

Artemisietalia principis Miyawaki et Okuda 1972

Anaphalido-Artemision principis Miyawaki et Okuda 1972

Lespedezo junceae-Cassietum Okuda 1978

23. Tritt- u. Flutrasen

Plantaginetea maioris Tx. et Prsg. 1950

Plantaginetalia asiaticae Miyawaki 1964

Agropyro kamoji-Rumicion japonici Miyawaki et Okuda 1972

Rumicetum crispo-japonici Miyawaki et Okuda 1972

24. Höhere Einheiten noch nicht bestimmt

Ilici-Alnetum japonicae Minamikawa, Yatoh et Kobayashi 1974

Rhamno nipponicae-Alnetum japonicae Ohno in Miyawaki 1985

Astilbo-Filipenduletum multijugae Miyawaki et Ohba 1964

In der Karten-Legende sind alle vorkommenden natürlichen Gesellschaften von der Meeresküste bis ins Hochgebirge dargestellt. Damit wurde die potentielle natürliche Vegetation auf der gesamten Fläche der Präfektur Shizuoka in 7 Blättern kartiert.

Auf der Basis der vegetationskundlichen Informationen aus der Karte der potentiellen natürlichen Vegetation haben wir theoretische und konkrete Vorschläge für den Naturschutz und die Schaffung einer neuen Vegetation in den urbanen Räumen und ihrer Umgebung gemacht.

引用文献

- 1) 文化庁, 1971: 天然記念物緊急調査植生図・主要動植物地図, 静岡県, 54 pp. 東京.
- 2) Braun-Blanquet J. 1928: Pflanzensozioologie. Grundzüge der Vegetationskunde, 865 pp. Wien, 2. Aufl. 1951. Wien. 3. Aufl. 1964 Wien-New York.
- 3) Ellenberg, H. 1956: Grundlagen der Vegetationsgliederung. 1. Teil: Aufgaben und Methoden der Vegetationskunde. 136 pp. Stuttgart.
- 4) 堀川芳雄・佐々木好之 1959: 芸北地方(三段峡及びその周辺)植生の研究, 三段峡と八幡高原総合学術研究報告, p. 85-107. (付図2, 付表12), 広島県教育委員会, 広島.
- 5) 環境庁 1974: 道路建設に伴う森林伐採の生態系に与える影響に関する研究 216 pp. 東京.
- 6) 吉良竜夫 1949: 日本の森林帯, 林業技術解説シリーズ 17, 41 pp. 日本林業技術協会, 札幌, 東京.
(1971: 生態学からみた自然, p. 105-141. 河出書房新社, 東京.)
- 7) 近田文弘編 1979: 南アルプスの森林植生, 44 pp. 静岡.
- 8) 近田文弘 1981: 静岡県の植物群落, 246 pp. 第一法規, 東京.
- 9) 宮脇昭・浜田丈夫 1976: 富士山南斜面(静岡県側)の植生についての植物社会学的研究, 富士山南斜面(静岡県側)の学術調査報告書, p. 1-40. (付表), 静岡県, 静岡.
- 10) 宮脇昭・村上雄秀・鈴木邦雄 1980: 御前崎地方の植生, 135 pp. (付着色植生図4, 付表), 横浜.
- 11) 宮脇昭・中村幸人・藤原一絵・村上雄秀 1984: 富士市の潜在自然植生, 254 pp. 横浜.
- 12) 宮脇昭・大野啓一・鈴木伸一・仲田栄二 1986: 北谷町の植生, 156 pp. (付着色植生図2, 付表), 沖繩県北谷町.
- 13) 宮脇昭・大場達之 1963: 南アルプス植生調査報告, 南アルプス塩見岳, 荒川岳, 赤石岳附近の学術調査報告, 長野林友(6): 56-67.
- 14) 宮脇昭・大場達之・村瀬信義 1964: 丹沢山塊の植生・丹沢大山区学術調査報告書, p. 53-102. (付着色植生図, 付表), 神奈川県, 横浜.
- 15) 宮脇昭・佐々木寧・原田洋・鈴木邦雄 1972: 富士川町植生調査報告, 40 pp. (付着色植生図, 付表), 静岡県富士川町.
- 16) 宮脇昭・鈴木伸一・鈴木邦雄 1984: 塩那道路周辺(栃木県)の植生, 112 pp. (付着色植生図2, 付表), 栃木県土木部, 宇都宮.
- 17) 宮脇昭(編) 1967: 植物—世界との比較における日本の植生—, 原色現代科学大事典3: 535 pp. (1977年改訂新版, 日本の植生 535 pp.), 学研, 東京.
- 18) 宮脇昭(編著) 1983: 日本植生誌4, 中国, 540 pp. (付着色植生図4, 別冊表), 至文堂, 東京.
- 19) 宮脇昭(編著) 1984: 日本植生誌5, 近畿, 569 pp. (付着色植生図4, 別冊表), 至文堂, 東京.
- 20) 宮脇昭(編著) 1985: 日本植生誌6, 中部, 604 pp. (付着色植生図4, 別冊表), 至文堂, 東京.
- 21) 宮脇昭(編著) 1986: 日本植生誌7, 関東, 641 pp. (付着色植生図4, 別冊表), 至文堂, 東京.
- 22) 奥富清・半田孝俊・和田良一 1973: 秩父多摩国立公園の植生, とくに植生区分と群落分布について(予報), 第84回日本林学会大会講演集, p. 400-403. 東京.
- 23) 奥富清・星野義延 1983: 関東・東北地方のミズナラ林の植物社会学的研究, 植物地理・分類研究 31(1): 34-45. 金沢.
- 24) 奥富清・松崎嘉明 1974: 富士・愛鷹山麓地域の植生, 富士・愛鷹山麓地域の自然環境保全と土地利用計画調査委員会編: 富士・愛鷹山麓地域の自然環境保全と土地利用計画調査報告書, p. 229-251. 富士市, 富士.
- 25) 静岡県 1978: 第2回自然環境保全基礎調査, 特定植物群落調査報告書, 227 pp. 静岡.
- 26) 静岡県 1979: 第2回自然環境保全基礎調査, 植生調査報告書, 116 pp. 静岡.

- 27) 静岡県 1985 : 静岡県の自然環境, 135 pp. 静岡県生活環境部, 静岡.
- 28) 杉本順一 1984 : 静岡県植物誌, 814 pp. 東京.
- 29) Tüxen, R. 1956: Die heutige potentielle natürliche Vegetation als der Vegetationskartierung. *Angew. Pflanzensoz.* 13 : 5-42. Stolzenau/Weser.

静岡県の潜在自然植生

—緑豊かな環境創造の基礎的研究—

Die potentielle natürliche
Vegetation der Präfektur Shizuoka

—Grundlegende Forschung für die Schaffung
einer Grünreichen Umwelt—

発行者 静 岡 県

印刷者 ヨシダ印刷株式会社
両 国 工 場
東京都墨田区亀沢 3—20—14

昭和 62 年 3 月 10 日 印 刷

昭和 62 年 3 月 14 日 発 行
